

2024年5月20日

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 学習型AIネガティブニュースラベリングシステム「NAIS」の販売開始について

三菱UFJ信託銀行株式会社（東京都千代田区、取締役社長 <sup>ながしま いわお</sup>長島 巖、以下 当社）は、株式会社MILIZE（東京都港区、代表取締役社長 <sup>たなか とおる</sup>田中 徹、以下 MILIZE）と共同で、ニュースベンダー等、複数の情報ソースから配信される様々なビジネスニュースからネガティブニュースを抽出し、AIを活用して特定の情報の抽出および優先順位付けを行う、学習型AIネガティブニュースラベリングシステム（News AI Searcher、以下 NAIS）を開発し、当社の市場運用業務におけるニュース分析、デューデリジェンス（評価）業務において活用しています。

これまで、金融機関を中心にNAISの無償お試しサイトを提供していましたが、このたび、幅広い業種のお客さまに販売を開始いたします。

### 1. 背景

当社では、市場運用業務における投資意思決定の際のデューデリジェンスにおいて、ネガティブニュースを活用しています。

複数の情報ソースから日々配信される大量のビジネス関連情報の中から、投資判断やデューデリジェンスに影響を与え得る重要なネガティブニュースを抽出し、分析・吟味するプロセスに関しては、兼ねてより業務効率性の観点で課題認識がありました。

そこで、当社は、MILIZEと共同でネガティブニュースの抽出および分析作業の効率化に資する新たなシステム(NAIS)を2022年7月に開発しました\*1。

さらに、金融機関を中心に、NAISの無償お試しサイトを提供していました\*2。

\*1 2022年7月4日プレスリリース

「AI活用によるネガティブニュース記事ラベリングシステムの共同開発について」

[https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf\\_mutb/220704\\_1.pdf](https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/220704_1.pdf)

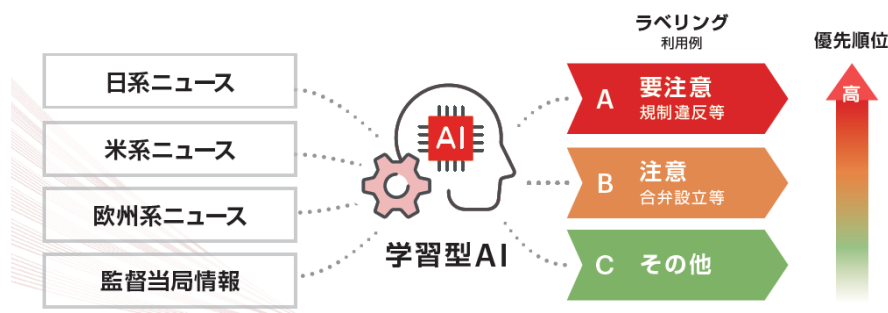
\*2 2023年12月6日プレスリリース

「学習型AIネガティブニュースラベリングシステム「NAIS」の実用化に向けた取り組みについて」

[https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf\\_mutb/231206\\_1.pdf](https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/231206_1.pdf)

### 2. 本システムの概要と特徴

NAISは、ニュースベンダーや監督当局など、複数の情報ソースから配信・発信される様々なビジネス関連情報から、重要なネガティブニュースを抽出・収集することができます。また、お客様自身で学習させることができる汎用性のある学習型AIを搭載し、国内外の豊富なニュースに対して、お客様の意向に沿ったラベリング（優先順位づけ）を行うことが可能です。



なお、ニュースベンダーは、ロイターニュースを配信している LSEG（ロンドン証券取引所グループ）のデータ・アナリティクス部門、時事通信社の大手 2 社と契約締結しており、欧米系、日系のニュースをカバーしています。このような豊富な情報量といった特徴を含め、以下のような特徴を有しています。



### 特徴1 対象企業に関する重要なネガティブニュースを優先的に分類

日々配信されるニュースから、対象企業に関する重要なネガティブニュースを抽出し、ラベリング（優先順位付け）を行います。



### 特徴2 記事の主体となる企業を正しく識別

記事上の「Apple」という単語が、「企業名」か「りんご」であるかを識別し、「企業名」の記事を正しく識別します。さらに記事上に複数の企業名が存在する場合も、記事の主体（主語）となる対象企業を正しく識別できます。



### 特徴3 通常業務によりモデルの精度が日々向上

人間参加型のAIシステム、HITL（Human In The Loop）方式を採用しております。誤った予測データは正しいラベルに補正、再学習させることでモデルの精度を日々向上させることができます。



### 特徴4 豊富な情報量

リーズナブルな価格で、世界中のニュースを閲覧することができます。NAISはさらに監督当局情報まで含まれており、ネガティブニュースチェックに必要な情報を広くカバーしております。



### 特徴5 翻訳サービスとの連携

翻訳サービスと連携し、高精度な英文記事の適時翻訳ができます。



### 特徴6 クラウド上で確認できるUI

クラウド上（Web上）でサービスを提供します。検索機能は直感的に操作することができます。記事上の単語をハイライトすることで、ニュース確認時のストレスを軽減します。ワークフローを利用することで、スムーズに業務を現場のプロセスに落とし込むことができます。

## 3. 本システムの販売開始について

今後、ニュースデータは、各種規制の強化や高まる地政学リスクなどを背景に、様々なビジネスシーンで利活用していくことが重要となります。実務担当者のニーズを起点に開発したソリューションである NAIS は、金融機関を中心に、幅広い業種のお客様においてご利用いただけるものと考えております。こうした背景を受け、当社ではこのたび、NAIS の販売を開始いたします。あわせて、無償お試し環境のご提供は継続いたします。詳しい情報に関しましては、下記 QR コードをご参照ください。

当社はこれからも、NAIS を中心とした「コンプライアンス×DX」領域のサービスやソリューションを拡充し、お客さまの多様なニーズにお応えして参ります。

【NAIS ロゴ】



【本件 QR コード】



【画面イメージ】



以上